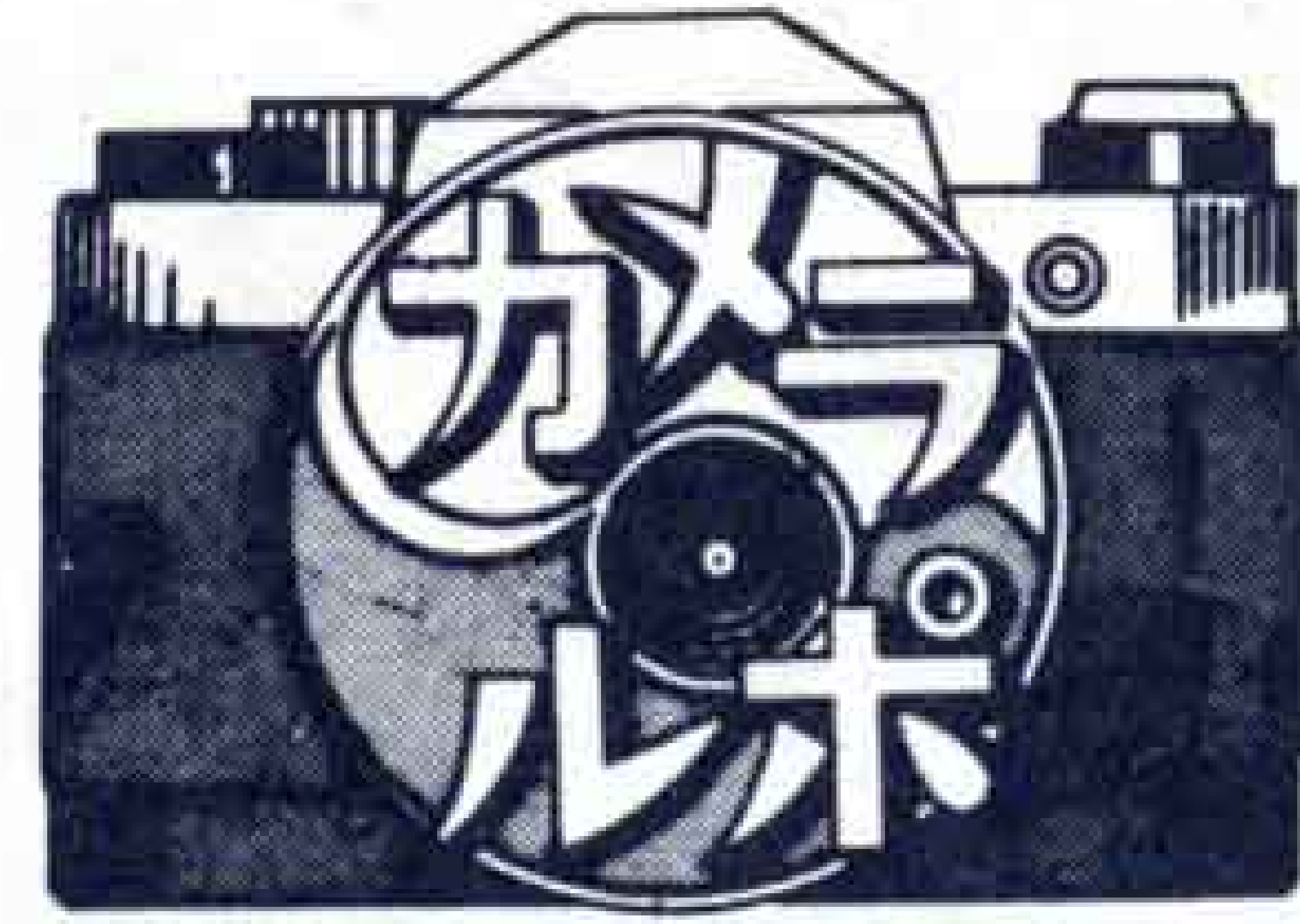




△せつかくの舗道もこれでは……



道路はみんなの財産

1人じめはいけません

8月は「道路を守る月間」です。

道路は、人間にたとえると血管と同じようなもの。もし、血管が切れたり、つまったりしたら大変なことになります。これと同じように、道路が破損されたり、狭い道路の上に物が置かれていたら、私たちの生活に支障をきたします。道路は、私たちみんなの財産です。汚さず、こわさず、いつも広く、きれいに使いましょう。



▷露地は子どものふれあいの場でも



▷舗道は右側ですよ

▽道路わきには違法看板が目立ちます



道路補修には多くの人手と経費がかかります 国道1号線





畳を使って堤防の亀裂を防ぐ畳張工法



▷石を渡す手にも力が入る



材木と蛇籠を使った川倉工法

水害を防ぐ

本番さながらの訓練を実施

一瞬のうちに、私たちの財産や生命までも奪ってしまう水害に備えて、富士市水防団は、7月25日の日曜日、東部下水処理場建設予定地で、水防訓練を実施しました。

台風9号により、赤淵川下流及び沼川の堤防に亀裂が生じ漏水した—という想定のもと、10分団408名の参加団員は、降りしきる雨の中を本番さながらに、土のう積み、川倉、畳張りなどの工法を実践しました。

博物館で企画展

「手漉きのせかい」をテーマに、市立博物館で第4回企画展「紙」-2-が7月24日から8月31日まで開かれています。

この企画展は、富士市の地場産業として発達してきた製紙に対する理解を深めていただくためと開いたもので、世界17ヵ国の手漉紙52点、原料や道具等96点が展示されています。



8月31日まで開かれる企画展